

【2号認定の見込み方】

令和4年度に、「1号認定の子ども（幼稚園を利用する子ども）」以外の全員が保育所等に申込みを行う と推測

<考え方>

- ・幼児教育・保育の無償化に伴い、令和4年度には3～5歳児の全員が何らかの施設を利用すると想定
- ・つまり、3～5歳児については、1号認定子どもと2号認定子どものいずれかに分類される（在宅児童はいなくなる）ものとして数値を算出

【算出方法】

- ① H30年度及びH31年度の実績から、3～5歳児の人口に対する1号認定子どもの人口比率を算出
- ② 1号認定子どもは減少傾向であり、その減少幅も大きくなっていることから、少なくとも①で算出したH30⇒H31年度の人口比率の減少ポイント程度は継続して減少していくと想定し、令和6年度までの1号認定子どもの人口比率を算出
- ③ ②で算出した1号認定子どもの人口比率を、「人口の推計値」に乗じて、令和6年度までの1号認定子どもの量の見込みを算出
- ④ 上記<考え方>のとおり、令和4年度以降は、「（人口）－（③で算出した1号認定子ども）＝2号認定子ども」として2号認定こどもの量の見込みを算出
- ⑤ 令和3年度までの2号認定の量の見込みについては、H31年度の2号認定の実績値から、令和4年度の量の見込み値に向け上昇させていく方法により算出

※毎年度実績値を確認し、数値に大きな誤差がある場合は、令和4年度中に実施する中間年の見直し時に、数値の修正を検討

○1号認定子どもの量の見込みの算出

H30 実績			H31 実績			R2 見込み			R3 見込み			R4 見込み			R5 見込み			R6 見込み		
1号子ども	人口	人口比率	1号子ども	人口	人口比率	1号子ども	人口	人口比率	1号子ども	人口	人口比率	1号子ども	人口	人口比率	1号子ども	人口	人口比率	1号子ども	人口	人口比率
3,118	6,931	45.0%	2,861	6,752	42.4%	2,661	6,692	39.8%	2,320	6,246	37.1%	2,106	6,100	34.5%	2,003	6,275	31.9%	1,805	6,161	29.3%

▲2.6% (実績の減少ポイント) ▲2.6% ▲2.6% ▲2.6% ▲2.6% ▲2.6%

過去の傾向を踏まえ、毎年度、同ポイントは減少していくと見込む

この考え方で3～5歳児の1号認定子どもの数を算出し、合算

3～5歳児 合計				
R2 見込み	R3 見込み	R4 見込み	R5 見込み	R6 見込み
8,739	7,849	7,013	6,282	5,689

1号相当の子ども以外は全員2号の申込児童と見込む

○2号認定子どもの量の見込みの算出

H31 実績	R2 見込み	R3 見込み	R4 見込み			R5 見込み			R6 見込み		
2号	2号	2号	①人口	②1号相当の子ども	2号(①-②)	①人口	②1号相当の子ども	2号(①-②)	①人口	②1号相当の子ども	2号(①-②)
10,263	10,819	11,375	18,943	7,013	11,930	18,531	6,282	12,249	18,448	5,689	12,759

令和4年度に「11,930人」になるように、2号の見込み数を上昇

令和4年度以降は全入